

JSA神奈川支部通信

No. 12 December 2022 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長: 〒230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP: <https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail: iioka408(at)gmail.com

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 0280-1-12774 日本科学者会議 神奈川支部

この号の見出し

- ◆九条科学者の会2022年12月講演会「立憲主義国家の破壊と再生」 九条科学者の会・永山茂樹
- ◆新たな団体を迎えた護憲運動—顛願厚さんが講演 後藤仁敏
- ◆山下ふ頭の再開発は市民の手で—水上裕之さんが講演 後藤仁敏
- ◆すべてはくり込まれた法則 神奈川民間懇 北山宏之

九条科学者の会 2022年12月講演会「立憲主義国家の破壊と再生」のお知らせ

九条科学者の会事務局長 永山茂樹

九条科学者の会 2022年12月講演会が「立憲主義国家の破壊と再生—ウクライナ侵略と安倍国葬を手がかりに」をテーマにオンラインで開催されます。

ウクライナ危機を奇貨とした9条改憲、安倍元首相刺殺を奇貨とした安倍国葬。2022年におきたこの二つの事件は、日本国憲法の立憲主義を破壊する動きに収斂されようとしています。しかしこれらの動きのなかで、ぎやくに「カルト団体に負けず、立憲主義を守ろう」「いまこそ9条が重要だ」という、立憲主義運動の立て直しの萌芽もみられます。お二人の講演を通じて相反する二つの動きをつかみながら、今後の運動につなげていければと思います。

講演1：日本国憲法平和主義の今日的意義 奥野恒久さん（龍谷大学政策学部教授）



1967年大阪府出身。室蘭工業大学准教授を経て、2011年より現職。現在、「憲法9条京都の会」事務局長。専攻は憲法学で、民主主義論と平和的生存権論、アイヌ民族の文化享有権論に専門知識を持つ。主要著書として、『人権論入門—日本国憲法から考える』（法律文化社、2019年）、『入門 憲法学—憲法原理から日本社会を考える』（法律文化社、2020年・共編）、『アイヌ民族の復権—先住民族と築く新たな社会』（法律文化社、2011年・共編）など。

講演2：歴史のなかの「安倍国葬」問題 宮間純一さん（中央大学文学部教授）



1982年千葉県生。専門は日本近代史、アーカイブズ学。博士（史学）。宮内庁宮内公文書館研究職、国文学研究資料館准教授、中央大学文学部准教授を経て2022年より現職。著書に『国葬の成立—明治国家と「功臣」の死』（勉誠出版、2015年）、『戊辰内乱期の社会—佐幕と勤王のあいだ』（思文閣出版、2016年）、『天皇陵と近代一大友皇子伝説と地域—』（平凡社、2018年）、『歴史資源としての城・城下町』（岩田書院、2021年）など。

2022年12月18日（日）14:00～16:30 新型コロナ感染予防のためZOOMによるリモート開催です。

定員90名、先着順。申込み：氏名、連絡先（電話番号）を記して m2-office@9-jo-kagaku.jp にメールし、ログイン情報を受け取り下さい。参加無料、カンパ歓迎

主催 九条科学者の会（「九条の会」アピールを広げる科学者・研究者）の会、〒113-0005 東京都文京区

新たな段階を迎えた護憲運動—纈纈厚さんが講演

後藤仁敏

2022年11月3日、かながわ憲法フォーラムが県民集会をかながわ県民センターホールで開催し、纈纈厚さん（元山口大学副学長）が「新たな段階を迎えた護憲運動の現在とこれから～軍事国家日本へ道を阻むために」について、以下のように講演しましたので報告します。

纈纈厚さんの講演

今朝のJアラートは、アメリカが情報を日本に知らせないことで、間違いで混乱を招いた。

2016年に私は著書『逆走する安倍政権』（日本評論社）で「馬上の安倍 安保を走らす」と書いたが、今は「死せる安倍 岸田を走らす」と語ろう。馬上とは軍人のことで、文民以上に軍事主義志向性が強かつた安倍の政治手法が岸田政権に作用し、法の支配を破壊して安倍国葬を強行し、国家精神総動員の訓練を行なった。



図1 講演する纈纈厚さん

ロシアはウクライナ侵略をしているが、アメリカはじめ国連安保理事会の常任理事国はみな国連憲章違反をしてきた。フランスの人口統計学者で歴史学者のエマニュエル・トッドは「米国は『支援』することでウクライナを『破壊』している」と言っている。ウクライナでは腐敗した幹部によってアメリカの軍事物資の横流しが行なわれている。「統一情報政策」で、ロシアを批判したにもかかわらず新ロシア系の政党も活動は禁止し、独裁政治で戦争を進めている。即時停戦こそ必要だ。なのに、日本の国会では戦争を進めるゼレンスキイを絶賛した。

ロシアのウクライナ侵略や中国の軍拡、北朝鮮のミサイルを口実に、岸田政権は敵基地攻撃能力の保有、防衛費増額など軍事大国化を進めている。防衛3文書が改定されようとしているが、アメリカの戦略文書の生き写しになっている。敵の中核まで狙うトマホークと発射するための大型イージス艦を購入することは、改憲の先取りだ。

憲法破壊と改憲策動を受け継いだ岸田政権は、安倍を背負って軍事大国化の道をめざしている。集団的自衛権容認と新安保法制により、戦争できる国に変貌し、日米豪印戦略対話（クアッド）で4カ国同盟に拡大し、NATOとの連携で对中国、対ロシア封じ込め軍事戦略を形成しようとしている。

アメリカの海外駐留兵力では、日本だけが4.8万から5.5万に増加しており、日本では日米の軍事同盟が強化され、軍事大国化が進んでいる。軍事費の増加は社会保障や教育の削減を招き、貧困大国化への道も進める。戦争で金儲けをする一部の富裕層を生む一方で、国民は戦争の犠牲になり、貧困化が進み、二極化が起こる。

改憲発議を許さないためにも野党共闘が必要で、労働運動と市民運動の連携や多様な媒体を利用した運動の多様化が求められている。

新倉裕史さんの報告

質疑応答の後、新倉裕史さん（非核市民宣言運動・ヨコスカ）が「神奈川・現地からの声」が、スライドを用いて、次のように報告しました。

9月28日、横須賀基地では、母港イージス艦ハワードほか3艦が満艦飾で、ハリス副大統領を迎えた。8月29日には、ペロシ下院議長の大和訪問後、横須賀母港のイージス艦2隻が台湾海峡を通過した。

昨年から横須賀はイージス艦11隻体制となり、ミサイル防衛の拠点化されている。イラク戦争も横須賀母港のイージス艦からのトマホーク発射で始まった。空母化された護衛艦いづもは米戦闘機F35Bで発着訓練をおこない、リムパックで「存立危機事態」の想定演習に参加自衛隊法95条の2の「武器等防護」は5年で79件、同法100条の6のミサイル防衛中の米イージス艦への給油は19年までに20件実施されている。自衛艦たかまは中東派遣で151日間も長期航海し、海自隊員は過酷な勤務を強いられている。長浦港では日米の弾薬庫と積出桟橋が強化されている。

防大卒業生の任官拒否者はウクライナ戦争で72名にのぼり、湾岸戦争時に次ぐ数になった。

事故率の下がらないオスプレイは、普天間飛行場配備から10年、全国の山岳地帯で低空飛行で始まっている。

最後に、共同代表の佐藤修さんが「来年5月に憲法集会を開催するので、よろしく」との閉会挨拶をしました。

山下ふ頭の再開発は市民の手でー水上裕之さんが講演

後藤仁敏

市民のための横浜市政を進める会が11月2日、横浜港ハーバーリゾート協会事務統括の水上裕之さんを講師に山下ふ頭再開発についての学習会を開催し、30人の市民が集まりました。水上さんはスライドを使用しながら、以下のように話しました。

まず藤木幸夫会長から皆さんにIRカジノがなくなつてよかつた、皆さんに感謝するとのメッセージを伝えます。会長は神奈川大学で学生に講演するなど元気で活躍しています。

昨年12月23日、突然、横浜市は山下ふ頭の再開発の市民意見・事業案の公募をはじめた。これはカジノ推進残党派の最後の抵抗を感じた。6月30日に締め切られ、市は10社から応募があり、名前を公表した6社と5社の事業内容を公表をした。しかし、4社の社名と5社の事業内容は明らかにされていない。これでは後出しジャンケンになり、公表しないほうに有利になつてしまふ。ハーバーリゾート協会も281頁、重さ1kgの事業案を提出した。市は協会には何の説明・連絡・相談もなく、事業者の提案登録要件を高くして、大手のゼネコンとデベロッパーしか事業提案できないようにしたことは大きな問題だ。

ボストンでは土地再開発を10数年かかって市民と議論して進めたのとは大きな違いだ。市民の合意形成過程に基礎を置いた自治的・分権的構造に改編することが、都市再生だけでなく、国土全体で質の高い持続可能な生活圏域を形成する道だ。

地元の村人、横浜市民の考えをもとに、地元専門家を交えて具体案を昇華させ、市民意見を集約して事業計画を決定し、地元建設事業者優先で建設事業を決定しなければならない。委員会も4つくらい必要だ。



図1 講演する水上裕之さん

協会が提案した事業構成は、25万m²の国際展示場、7万人収容のコンサート会場、5000～1万室のホテル・宿泊施設、10万kWhの水素エネルギーセンターからなる。1日に15万人が訪れ、7～8000人が宿泊する計算だ。そのために、現在の交通の10倍が必要で、新しい駅、海上交通、ロープウェイ、高速道路が必要となる。実現するには、オール横浜からなる新しい共同事業体をつくることになる。

話の最後に、水上さんはドローンで撮影した山下ふ頭の映像を紹介しました。

その後、質疑応答があり、岡田尚世話人代表が「私たちは反対するのは得意だが、造りあげるのは慣れていない。これからもこのような学習会を開いてゆきたい」と挨拶しました。

すべてはくり込まれた法則

神奈川民間懇 北山宏之

概要：物性の分野で流体の粘性や密度が温度変化し、流体が相転移することと対比して、素粒子の分野で電子の電荷や質量も定数ではなくエネルギーに依存し、背後の真空も相転移する。このようにとらえて測定値を予言できる発散のないくり込み理論となることを展開する。

主な文献：①「破られた対称性 素粒子と宇宙の法則」 佐藤文隆 PHPサイエンス・ワール

ド新書 2009年11月発行

②「クォークとレプトン」 ハルツェン、マーチン 培風館 1986年発行

1. はじめにと結論

ファインマン・ダイアグラムについて：

素粒子の場は、互いに相互作用して、運動状態を変えるだけでなく、生成消滅したり、種類を変えたりする。標準理論での素粒子の相互作用は、たとえば電子による光子の生成消滅で生ずる。この様子を図15のように表現するのが、ファインマン・ダイアグラムである。

この図15には電子と光子の作用の簡単な例を示してある。時間の流れを、下から上に向かって見ると、各々の過程の名称は図のようになる。時間の流れに逆行した矢印のものは反粒子(今の場合陽電子である)。

粒子の生成消滅が起こる場の量子論では、荷電がゼロといつてもプラスとマイナスの合計がゼロであって、プラスもマイナスも有限値あってもよいとなる。外からエネルギーを与えなくとも、真空内部では生成消滅過程が起こっているから、実際の真空は決して1つにキチンと定まったものではない。こうした状態を「仮想過程の存在」で捉えている。真空は沸き立っているのである(図16)。電子は現実には相互作用の中にしかないのに、それらを各要素にいったんばらばらに分解して、再構成するという手続きに対して自然はこのような勝手な仮想概念に反対しているのである。

またこうした沸き立つ真空のなかに電荷を持つ素粒子が登場すると電荷の周りに仮想過程の存在物が群がって、電荷の値を修正してしまう。図17のように裸の電荷が衣を着ると表現され

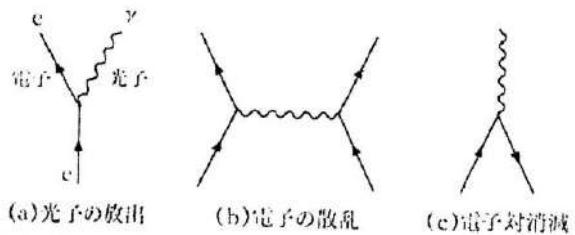


図15 電子と光子の作用のファインマン・ダイアグラムの例。

仮想過程——沸き立つ真空：

中古

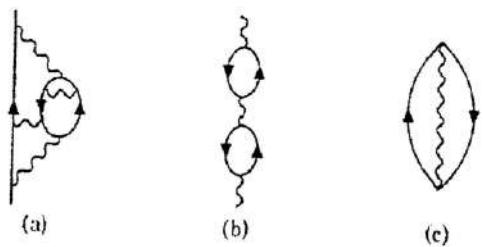


図16 沸き立つ真空、真空は無数の粒子生成・消滅が起きている海である。ファインマンは場の量子論で記述する粒子の相互作用をこのようなダイアグラムで図示することを考慮した。実線で矢印が対になっているのは粒子とその反粒子で、線の交わるところが相互作用である。波線はこの過程で光子が生成されることを示す。(a) は電子の衣、(b) は光子の衣、(c) は真空偏極。

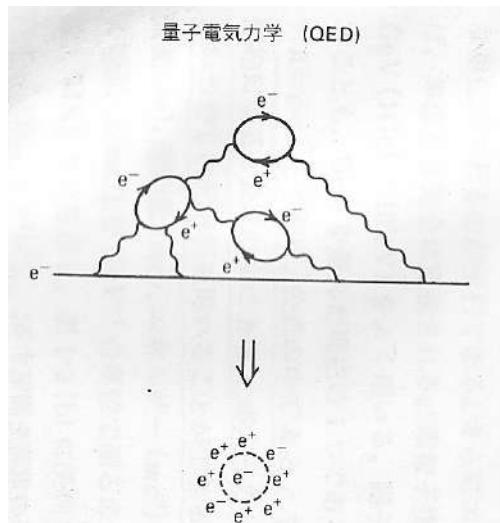


図17 裸の電荷が衣を着た電荷になる

る。また素粒子の質量エネルギーもこの衣効果で修正される。

この「修正電荷」や「修正エネルギー」を計算すると、無限大に発散してしまう。この「修正」が無限大になることは、場の量子論の「発散の困難」と呼ばれている。

結論①：くり込み理論は、この無限大修正と絡んで登場した。すなわち、

(観測される電荷)	=	(裸の電荷)	+	又は ×	(修正電荷)
有限値		観測されない			計算すると無限大
		理論上のもの			

したがって、裸の電荷と修正電荷を組にして観測される電荷に置き換えればよい。何しろ原理上、裸の電荷や裸の質量などという量は、観測されない理論上のものだからである。くり込まれたというのは、修正をすでにくり込んだという意味である。

しかしこんなお手軽な粉飾決算なみの“みなし”操作で無限大は退治できるのか？ これは自明ではないが、観測されるあらゆる物理量がこうしたくり込まれた電荷や質量で表現されているなら裸の電荷や質量はどこにも顔を出さない。こうなっていれば首尾一貫した“みなし”操作として成功となる。

いわゆる朝永・シュウインガー・ファインマンのくり込み理論の成功とは、QED(量子電気力学)では確かにそうだと証明したことなのである。そしてその段階では、一時的な困難回避法か、もっと重要な意義があるのかどうかは、見方に差があった。

結論②：しかし標準理論完成時には、見方は逆転して、くり込み可能な相互作用のみが場の量子論で許される相互作用のタイプであるというように、この考え方は原理の地位に格上げされたのである。そしてこの資格を満たすものとして、相互作用はゲージ場によって媒介されるというかたちで結末をみたのである。いわば場の量子論で扱う相互作用のタイプで、発散の困難を引き起こさない優等生に限ることで困難を回避し、その指導原理で統一ゲージ理論に行き着いたのである。

2. 物性係数と相転移

物性という階層の現象を見る際には、物質の無数の原子という下の「階層」を前提としている。

例えば、流体の流れの速度場はナビエ・ストークスの方程式で記述される。この方程式には、密度と粘性という物性係数が含まれている。この2つの係数は、構成原子間の力の性質や数密度や温度という集団の性質で決まっていると考えるが、実際には具体的な流れをこの方程式で解析することで、これら係数が実験的に決められる。

しかしそれでも「原理的には」、原子と集団の性質で計算可能と考えられている。流体の速度場の法則は、膨大な原子の個々の情報に立ち到らなくても、それらの情報は密度と粘性に“くり込まれている”のである。

例えば、密度が一様な流体の流れ(速度場)の様子は粘性の大小で決まる。流体が水なら、温度が零下になると氷になるから、流体としての性質は失う。原子の集団としての性質に相転移が起こって、結晶になったので、流れの場という記述自体が意味を失う。

この相転移という現象は、原子集団の性質をくり込んだ粘性が無限大に大きくなつたこととして数学的には理解される。

このように流れの方程式や電気伝導の方程式のような、マクロな物性の法則に現れる原子集団の性質をくり込んだ粘性は、相転移においてゼロになつたり発散したりする。集団の秩序の激変(相転移)はくり込まれた係数の異常な振る舞い(ゼロとか発散とか)に映し出されているのである。そういう激変でない場合には係数は温度などで穏やかに変化するだけである。

3. 電荷も現象次第

今度はQED(量子電気力学)のくり込みの話題に移ろう。

そこでは電子の質量や電荷を“・・・(物性での媒質に対応する何ものか)”の性質をくり込んだ、粘性や電気伝導のような係数を考えるのである。

電気抵抗が温度で緩やかに変わっていったことに当るのは、たとえば電子が他の素粒子と作用する際のエネルギーである。量子力学ではエネルギーは場の波動の波長に逆比例する。そしてその波長の大きさは、空間的にそれ以上の分解能で作用を局在させられない大きさを表す。

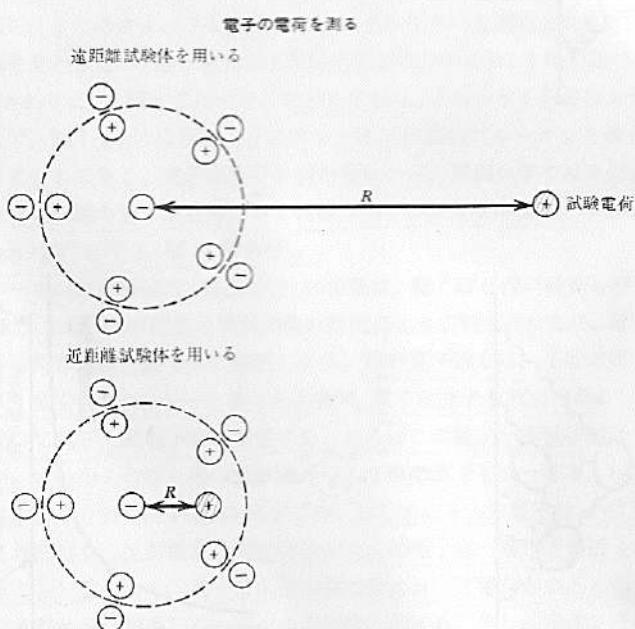


図1・6 電子の電荷を測定する。

裸の電子は電子・陽電子の雲で囲まれている。

試験電荷を導入して、クーロン力を測定して裸の電荷を決定しようとすると、結果は試験電荷をどこに置くかによって変わってくる。

電子に近づくほど、大きな電荷を測定することになる。結局測定された電荷はそれを測定する場所に依存する。

素粒子の場の量子論に定数のようなかたちで現れていた質量や電荷が、実はこのような分解能に依存して値が違うのである。それはちょうど粘性や電気抵抗が定数でないのと同様である。というか、このようにエネルギーに依存して質量や電荷の値があるとすると、そのような場の量子論はくり込み可能であって、発散の困難がない有限理論になるのである。

4. 不動でない真空

物性という階層では、背後にある原子集団の性質として、粘性や電気抵抗があるのだから、それらが集団の状態の差に応じて変わるのは当然のことである。しかし、素粒子の電荷はどの集団の性質をくり込んでいるのであろうか？

電子の質量や電荷は電子の持っている量であると考えれば、それが観察される現象に応じて別の値だなどということはあり得ない。しかし現実にはそうなのであるから、電子の質量や電荷を電子の持ち物みたいに考えるのは間違いなのである。それらの量は、電子と何ものかの作用しているイメージを持たなければならない。この何ものかは場の量子論の真空である。

場の量子論の真空でいうところの真空とは、何もないことではなく、電子がそこに存在すれば、それに応じて電子の周辺の状態が変わることをいう。

観測の仕方によって電子の質量や電荷が異なると言われても「元になる真電荷があつてそれに補正して観測値になるのだから、真電荷を電子固有の性質と見なせばいいじゃないか」と思われるかもしれないが、真の電荷はないのである。あるのは、あるエネルギーでの値と他のエネルギーでの値の関係である。

真空が、あたかも流体や伝導体のようなものになっているというと、それは何の集団なのかということになる。また流体や伝導体の相転移に応じた、真空の相転移もありうことになる（実は南部陽一郎の対称性の破れた真空というのは、この点に関係している。彼は真空をスカラ一場が空間の至る所に充満して存在している状態とみなす提案をしている。スカラ一場としてヒッグス場が発見され実証された。真空は、いまや空っぽとはほど遠い未知のものの集積体なのである）。

こう聞くと、「それはわかった。しかし、その“真空”にあるものを取り扱えば、“真の真空”があるんでしょう？」とまた思うかもしれない。真の電荷、真の真空・・・私たちはどこまでも“真の・・・”を問うていくことがあたかも真理の探究のような惰性に陥ってはいないであろうか。

くり込み理論の真価は、実はここにある。“真の”主義の反対は、相対主義である。相対とは「観測に応じて」相対的にものの見方が決まるという立場を徹底することである。

私たちは現実という足元から、殻を一枚一枚剥がしているのである。何もないところに現実を構成しようとしているのではない。この「何もない」の概念ほど曖昧なものはないのである。私たちができることは、現実からわかった部分を剥がすことだけである。そしてこれで全部剥がしたという検証は、絶対にできないのである。科学は「この絶対にできない」という不可知論の克服として、元々は哲学的に登場した。不可知論を進歩主義に置き換えたとも言える。

（本報告では民間懇での発表のうち定性的説明のみで、定量的説明部分を割愛しました。13ページの全体を見たい方は、kitayama-hiro@kfx.biglobe.ne.jpまでお知らせ下さい）

行事案内

☆11月18日（金）14:30～16:00 「国家安全保障戦略」等の改定に反対する院内集会 この軍拡は〈國のかたち〉を変える 会場：衆議院第一議員会館地下1階第4会議室 資料代500円 講演：布施祐仁さん「米戦略に追随する安保3文書の改定—『敵基地攻撃能力』保有と大軍拡が目指すもの」 主催：STOP大軍拡アクション 連絡先：090-6185-4407（杉原）

☆11月18日（金）16:00～17:30 Zoomセミナー 経済安全保障推進法って何？市民生活にどう関係してくれるの？ 講師：海渡雄一（弁護士）、天笠啓祐（ジャーナリスト）、司会：小寺隆幸（軍学共同反対連絡会事務局長） 事前申込み：参加希望者は事前に下記メールあてに必要事項明記の上、11月15日までに申し込 みください。必要事項：名前、職業、メールアドレス 申込み先：E-mail jreikochan@yahoo.co.jp またはこちらから → <https://forms.gle/R5ximFrQaZeZ2zZ8> 参加費：無料（寄付歓迎）郵便局からの送金の場合：口座番号 10290-70860881、他行からの送金の場合：ゆうちょ銀行 028 店（ゼロ二ハチ） 普通 7086088 口座名義 神野玲子 当日の詳細案内：申込みされた方には11月15日ころにzoomのURL等を案内します。主催：ゲノム問題検討会議 <https://www.gnomeke06.net/> 問い合わせ：神野玲子 E-mail jreikochan@yahoo.co.jp、携帯番号 090-2669-0413

☆11月19日（土）9:30～12:00 かながわ市民連絡会全体会 オンラインのみ（zoom） 議題：各区の報告、意見交換など 問合せ：080-3402-3360（内藤繁）

☆11月19日（土）、20日（日）、23日（水）、26日（土）、27日（日）第96回公演「正直・清兵衛」「米屋はまだ無事か」 毎回、①11:00～、②15:00～ 会場：スペース京浜（JR鹿島田駅徒歩15分） 前売り一般3000円、学生・障碍者1500円（当日各500円増） 主催：景品協同劇団 問合せ：044-511-4951

☆11月19日（土）～12月11日（日）日本科学者会議第24回総合学術研究集会 in 大阪 新型コロナウィルス・気候危機下の科学と社会－脱炭素・脱原発・脱貧困を求めて－ 会場：大阪大学とオンライン 11月19日 全体会1：下田正（大阪大学名誉教授）演題「戦争と平和－核兵器の開発の歴史を中心に」、全体会2：中川敬介（岐阜大学応用生物科学部准教授）演題「コロナウイルスと One Health」 12月11日 全体会3：浅岡美恵（京都弁護士）演題「気候危機と人権」 11月19日から12月11日の土日の午前午後に、34分科会 主催：JSA 24総学実行委員会 問合せ：24sogaku@jsa.gr.jp <https://jsa.gr.jp> 詳細：<https://jsa.gr.jp/05event/sougaku.htm>

☆11月19日（土）13:30～16:30 2022全県国保改善交流集会 神奈川県の市町村国保の改善をめざして 会場：建設プラザかながわ2階ホール 会場とzoom視聴 できるだけ会場にお越しください zoom視聴url <https://onl.1a/6x3eGTA> 神田敏文さん（神奈川自治労連委員長） 市町村国保調査の概要、国保改善に向けた取り組み提起、討論（各市町村の取り組みなど） 主催：神奈川県社会保障推進協議会（045-201-3900）

☆11月19日（土）～20日（日）「市民と野党の共闘」の新たな発展へ いま学び、語ろう革新懇の役割 地域・職場・青年革新懇全国交流会 in 東京 2022 参加費1000円（1日のみは500円） 19日 全体会13:30～17:00 会場：砂防会館別館B利根大会議室（永田町駅4番出口徒歩1分） 来賓：広渡清吾さん、大江京子さん 講演：伊藤千尋さん、内田聖子さん、志位和夫さん 20日 分散会・分科会9:00～12:00 分科会①職場交流会、②青年交流会、シンポジウム「地方政治を共闘で考える」 分散会①～⑧ 会場：砂防会館、全労連会館、エデュカス東京 申込み・問合せは神奈川革新懇が全国革新懇へ（03-6447-4334）

☆11月19日（土）14:00～ 統一協会癒着徹底追及！軍拡やめろ！改憲発議反対！辺野古新基地建設中止！いのちと暮らしを守れ！11・19国会議員会館前行動 場所：衆議院第2議員会館前を中心 フィジカルディスタンスを確保しながらスタンディング できるだけ各自のプラカード持参を 共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲NO！全国市民アクション

☆11月19日（土）14:00～ 沖縄「復帰」50年を問う 命（ぬち）ぬぐすーじ 舞（もう）い遊（あし）ば 会場：林野会館大ホール（地下鉄茗荷谷駅徒歩7分） チケット前売1500円、当日券2000円 お話：源啓美、琉球舞踊：源啓び・上原えみこ・でいごの会 うた・三線：ナーグシク ヨシミツ 映像：2008年公演「人類館」一部上映 チケット購入方法：郵便振替 00150-8-120796 加入者：沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 賛同金（一口1000円）もお願いします。主催：沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック（090-3910-4140）

☆11月19日（土）14:00～ 神奈川合唱団演奏会2022「飛行機よ」 会場：サルビアホール（JR鶴見駅また

は京急鶴見駅徒歩2分、シークレイン4階) 全席自由席:一般1500円、障碍者・中高生500円、小学生以下無料 プログラム:五つの混成合唱曲 飛行機よ、Triangle(SMAP)、童神(古謝美佐子)、島唄(The Boom)、Human Rights(笠木透)、日本国憲法前文(きたがわてつ) 問合せ・申込み:神奈川合唱団(090-2483-8812、河野さん)

☆11月20日(日) 13:00~ 原子力空母いらない!横須賀集会 原子力空母いらない!オスプレイNO 爆音なくせ、原発ゼロ、戦争法廃止、市民と野党の共闘で政治の流れを変えよう、ロシアはウクライナ侵略をやめよ、母港化に反対する11・20横須賀集会 会場:横須賀市ヴェルニー公園 規模1000名 デモ行進:横須賀中央駅先のコース 集会場の新型コロナウイルス感染防止対策:ソーシャルディスタンス/検温/消毒/その他 WEB発信の検討 主催・呼びかけ:原子力空母いらない!横須賀集会実行委員会(安保破棄中央実行委員会/安保廃棄神奈川県統一促進会議/原子力空母の横須賀母港阻止三浦半島連絡会)

☆11月20日(日) 14:00~16:00 第88回草の根歯科勉強会 戦後史-戦争責任から戦後責任-を考える 会場:梨の木カフェ(水道橋駅徒歩3分、会場は10名まで) zoom併用 要申込:電話03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp 講師:内海愛子氏(恵泉女学園大学名誉教授) URL、ID、パスコードは後日知らせます。主催:草の根歯科研究会

☆11月23日(水・祝) 9:00~12:00 横浜で天皇制を考えるフィールドワーク 9時にJR桜木町駅新南口改札口(南口ではない)に集合 主催:2.11県民のつどい実行委員会 問合せ:浜高教・大山(hkk@jt3.so-net.ne.jp)

☆11月23日(水・祝) 10:30~16:30 11.23争議権利討論集会 午前の部:分科会 ①労働審判制度分科会、②争議交流分科会 午後の部:鵜飼良昭弁護士「労働審判制度の現状と課題」争議組合等アピール 会場:ウイリング横浜12階(上大岡駅徒歩3分) 連絡先:実行委員会(赤堀、045-212-5855)

☆11月23日(水・祝) 13:30~14:30 栄区革新懇總会特別講演 「横須賀火力発電所建設問題と気候危機」 講師:鈴木陸郎(横須賀火力発電所建設を考える会共同代表) 会場:サカエスタ3階中会議室(本郷台駅徒歩4分) 主催:栄区革新懇 問合せ:090-1258-4710(筒井さん)

☆11月23日(水・祝) 10:30~16:30 11.23争議権利討論集会 午前の部:分科会 ①労働審判制度分科会、②争議交流分科会 午後の部:鵜飼良昭弁護士「労働審判制度の現状と課題」争議組合等アピール 会場:ウイリング横浜12階(上大岡駅徒歩3分) 連絡先:実行委員会(赤堀、045-212-5855)

☆11月23日(水・祝) 16:00~ シンポジウム 有害物質PFOSって? 相次ぐ米軍基地からの流出 会場:大和市生涯学習センター(シリウス)601会議室(大和駅徒歩3分) 講演:PFOSをはじめとした有機フッ素化合物の有害性 惣田昱夫(静岡理工科大学元教授) 基地周辺議員からの報告:横須賀基地大村洋子横須賀市議、厚木基地 松本春男綾瀬市議、堀口香奈大和市議、キャンプ座間 守谷浩一座間市議 県議団からの報告 大山奈々子県議 沖縄からのたたかいの報告(宜野湾・北谷町からオンライン) youtube配信あり 連絡先:日本共産党神奈川県委員会(045-432-2101)

☆11月25日(金) 17:00~19:00 『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会 会場:かながわ県民センター711号室(横浜駅西口徒歩5分) 参加費300円 市民自治に関心のある方は是非お越し下さい。 問合せ:Eメールkura335200@star.ocn.ne.jp

☆11月25日(金) 18:30~ 「復帰」50年と沖縄・辺野古 オンライン講演会 会場:横浜市技能文化会館8階802(関内駅徒歩5分) 資料代500円(学生無料) 辺野古現地の映像上映 お話:高里鈴代さん(オール沖縄会議共同代表) 主催:島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会 連絡:090-4822-4798(深沢)

☆11月26日(土)・27日(日) なくそう!日米同盟・米軍基地 2022年日本平和大会 オンライン 26日10時~12時 開会集会、13時30分~16時30分 シンポ・分科会 27日10時~12時 閉会集会 主催:実行委員会 問合せ:03-3451-6377

☆11月26日(土) 13:30~15:30 学習会「地球温暖化と横須賀石炭火力発電所建設」 講師:鈴木陸郎さん(横須賀火力発電所建設を考える会共同代表) 会場:横浜市社会教育コーナー(JR磯子駅徒歩4分) 資料代500円 主催:磯子区革新懇 問合せ:045-754-2363

☆11月26日(土) 13:30~15:20 秋の講演会:日本国憲法は未来的 お話:田中優子さん(法政大学名誉教授・前総長) 会場:全国教育文化会館(エデュカス東京7階ホール) 資料代700円 主催:千代田九条の会 連絡先:03-3291-5477

☆11月26日（土）14:00～16:00 日本の食と農を考える2022年度公開研究会 第5回「生産者から生協産直を考える（仮）」 報告者：飯島幸三郎（船橋農産物供給センター前代表、日本科学者会議食糧問題研究委員会） 「生産者から生協産直を考える（仮）」報告、 船橋農産物供給センターの取り組み、生産者の現状、日本の農業や生協産直への期待、他、質疑応答と議論 主催：日本科学者会議食糧問題研究委員会 参加無料 希望者は下記へ当日接続してください。
<https://us06web.zoom.us/j/88583292854?pwd=L2ZJdE1yMGtWb2FyZ3I0akhPRmlqdz09> ミーティングID: 885 8329 2854、パスコード: 054887

☆11月26日（土）15:00～ 爆音訴訟調査研究センター第5回通常総会記念講演 加速する岸田政権の防衛力強化－来年度予算編成とその問題点 会場：大和市生涯学習センター610大会議室（シリウス6階、大和駅徒歩3分） お話：谷田邦一さん（ジャーナリスト、シンクタンク研究員） 参加自由 オンラインでも配信、希望者は以下に講演配信希望と書いてメールを（b-choken-c@atbb.ne.jp） 主催：特定非営利活動法人・爆音訴訟調査研究センター（046-240-1041）

☆11月26日（土）18:00～20:30 ふくかなトライアルセミナー2022 被ばくと住まいの人権裁判－集団訴訟の闘いで見えてきたもの 井戸弁護士に聞く 司法の最前線で原発被害者の人権を取り戻す 講師：井戸謙一弁護士 会場：かながわ県民センター2階ホール（横浜駅西口徒歩5分） 参加無料（カンパ歓迎） 主催：福島原発かながわ訴訟を支援する会（070-1316-4575、水澤）

☆11月28日（月）14:00～ 神奈川県内広域水道企業団の説明会 会場：西長沢浄水場会議室（田園都市線宮前平駅からバス、潮見台浄水場前下車） 参加無料 主催：かわさきの安全でおいしい水道水を守る会 問合せ：090-7944-5636（町井さん）

☆11月28日（月）19:00～20:30 特別記念企画 太ひでし氏－第100回 草の根タウンミーティング×第10回 やまと未来ラボ 会場：やまと芸術文化ホール（メインホール）（大和市大和南1-8-1 文化創造拠点シリウス1階） 講師：（一財）日本総合研究所会長・多摩大学学長 寺島実郎氏 テーマ：2023年日本の針路を展望する～コロナ・ウクライナ危機の先にあるもの～ 参加費1000円（「寺島実郎の時代認識」資料集代含む） コロナ感染防止対策として、マスクの着用や会場での検温、入退室時の消毒、間隔をとての着席、室内換気等にご協力ください。先着順の事前お申込制 問合せフォーム：<https://futori.net/event/7669> 電話046-244-3203

☆11月30日（日）18:30～ 11.30集会：いま 戦争と憲法に向かい合う 田中優子さん（法政大学名誉教授）「経験発議と自民党憲法改正草案」、金平茂紀さん（ジャーナリスト）「ウクライナ 憲法 メディア」 会場：神奈川県民ホール大ホール（みなとみらい線日本大通り駅徒歩5分） 入場料1000円、高校生以下無料 呼びかけ人：石黒康仁、伊藤新、岡田尚、後藤仁敏、菅原健一、住谷和典、高橋通廣、高梨晃嘉、長瀬嘉宏、仲築間卓蔵、中森圭子、新倉裕史、福田護、馬鳥敦、水谷正人、森卓爾 主催：11.30集会実行委員会（実行委員長：岡田尚弁護士） 問合せ：045-651-2431（横浜合同法律事務所 高橋由美弁護士）

☆12月3日（土）10:30～12:30 神奈川県高等学校教職員組合 第65次教育研究集会 全体会記念講演会 学校における利他～「生徒のため」は誰のため？ 会場：神奈川県立柏陽高等学校（JR本郷台駅徒歩5分） 入場無料 申込不要 講師：伊藤亜紗さん（東急工業大学リベラルアーツ研究教育院教授） 13時30分～16時 分科会：健康教育分科会、後期中等教育問題分科会、青年期の心分科会、人権教育分科会、図書館教育分科会、日本語（国語）教育分科会、家庭科分科会、社会科分科会 主催：神奈川県立高等学校教職員組合（045-231-2479）

☆12月3日（土）13:30～ 映画「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」上映会 会場：南足柄市文化会館（金太郎みらいホール）小ホール（大雄山線大雄山駅徒歩5分） 一般1000円、高校生以下500円 主催：実行委員会 問合せ：090-1837-1811（奥津さん）

☆12月3日（土）13:30～ 神奈川革新懇第43回総会 会場：神商連会館4階ホール（東神奈川駅西口徒歩5分） オンライン併用 参加費500円 内容：立民・共産・社民代表挨拶、情勢論と報告、討論 参加希望者は地元革新懇へ 問合せ：080-5931-8179

☆12月3日（土）13:30～16:45（於：ZOOM開催） 関西私大助成シンポジウム2022 講演：永田和宏氏（京都大学名誉教授、京都産業大学名誉教授／JT生命誌研究館館長）、光本 滋氏（北海道大学教育学研究院／専門：高等教育論） ZOOM事前登録の申込みフォーム（12月1日（木）締切）
<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZUtdu6hrDIIsGtRmaVyHSZW1JJJoD5027wNV1> 問合せ先：

京滋地区私立大学教職員組合連合（担当：佐々江） Tel : 075-415-1092 Fax : 075-415-1093、mail : kfpu@ari.bekkoame.ne.jp

☆12月3日（土）18:30～20:30 有田芳生さん講演会「旧統一教会と自民党の癒着はどのくらい深いか」

会場：かながわ県民センター301（横浜駅西口徒歩5分）チケット代800円 主催：かながわ1区市民連絡会 連絡先：吉田（090-2542-0413・FAX:045-785-0642）、丸茂（090-1509-8057）、土志田（080-1151-0943）、片岡（080-1110-4516）

☆12月4日（日）13:30～ 日中の新疆ウイグル問題 連続学習会第2弾「新疆ウイグル自治区 民族問題の実際と抨啓」 講師：大西広氏（慶應義塾大学名誉教授） 会場：かながわ県民センターホール（横浜駅西口徒歩5分） 参加費500円 問合せ：045-663-0041 主催：日本中国友好協会神奈川連合会

☆12月4日（日）14:30～16:30 学習会「（仮題）岸田内閣が、世論と憲法とを無視して国葬を強行実施したことに対する検証」 講師：永山茂樹東海大教授 会場：鎌倉生涯学習センター第5会議室 資料代500円の予定 主催：湘南護憲市民の会・鎌倉 連絡先：小堀 080-5035-7168

☆12月5日（月）18:30～ 日本共産党大演説会：党創立100周年来春の統一地方選勝利へ 講師：志位和夫（党委員長、衆院議員） 来年の統一地方選挙の予定候補が勢ぞろいします会場：神奈川県民ホール（日本大通り駅3番出口徒歩8分、関内駅徒歩15分） オンラインでも視聴できます（日本共産党神奈川、で検索） 問合せ：045-432-2101

☆12月6日（火）14:00～ 安保法制違憲かながわ訴訟 控訴審第1回目 場所：東京高裁101号法廷 終了後、15時頃から、報告集会 会場：ビジョンセンター一日比谷302号会議室（裁判所を出て、日比谷公園を渡ったところです） 安保法制違憲訴訟かながわの会（福田弁護士、045-222-4401、関守弁護士、045-651-2431）

☆12月8日（木）9:30～16:00 県政ウォッチ第1弾 再エネを活用した地域経済を体感 ソーラーシェアリング バイオマス・未病施設の見学体験 集合：9時30分に小田原駅北口（新幹線口）集合 参加費なし（弁当代・ミカン狩り1500円は個人負担） 定員35名、先着順 予約・問合せ：神奈川労連までファックスで名前（フリガナ）、職業・所属団体など、携帯電話、メールアドレス、住所をお知らせください。Fax. 045-212-5745

☆12月10日（土）13:30～16:00 第29回アジア・フォーラム横浜証言集会 中国人パイロット（102歳）語る 証言：何永道さん（リモート） 講演：高嶋伸欣さん（琉球大学名誉教授） 通訳：林少彬さん 会場：かながわ県民センターホール（横浜駅西口徒歩5分） 資料代1000円（学生以下無料） 問合せ：080-4536-3505（吉池）

☆12月10日（土）13:30～16:30 自然エネルギー連続講座シンポジウム 内容：報告「各自治体の取り組みの現状と課題」－自治体アンケートの集計結果－、シンポジウム「自然エネ100%の大阪を目指して」、大阪の電力需要と自然エネ・再エネ100%を目指して、大阪での自然エネ・再エネを飛躍させるために、大阪経済の活性化と自然エネ・再エネ、大阪府・市政のエネルギー施策の実態と問題点 資料代：500円（学生：無料） 4回連続ご参加の方は2,800円 講演レジュメ：Zoom参加者には事前にデータで講演レジュメをお送りします。紙ベースのレジュメをご希望の方は、郵送費の実費等として1回につき150円のご負担をお願いします。申込み：5月15日までに、メールまたはFaxでの申し込みの項目（名前、電話番号、住所、パソコンのメールアドレス、参加講座（○印を）シンポジウム 参加形態（会場Zoom） 第1次分として5月15日までにメールかFax、郵便などで事務局まで申し込み下さい。申込みいただいた方には、事務局より請求書と郵便振替用紙をお送りします。郵便振替かゆうちょ銀行への振り込みでお願いします。申込先・主催：原発ゼロの会・エネルギー部会（〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号、電話06-6949-8120 FAX06-6949-8121 メールnakamura@oskougai.com）

☆12月10日（土）14:00～ 不戦の誓い 第84回平和憲法を守るかながわ県民集会「沖縄復帰50年・沖縄戦を振り返り・本土復帰・沖縄の今」 会場：かながわ県民サポートセンター604（横浜駅西口徒歩5分） 講師：毛利孝雄さん（沖縄大学地域研究所特別研究員、辺野古埋め立て土砂搬出反対首都圏グループ） 資料代・会場費：500円 主催：かながわ平和憲法を守る会 問合せ：090-2542-0413（吉田）

☆12月13日（火）14:00～15:00 「日本の科学者」「支部通信」発送作業と支部幹事会 会場：かながわ総研会議室（横浜市中区不老町2-8-8 不二ビル6階604号室、045-662-9839） 交通：JR関内駅南

口または地下鉄伊勢佐木長者町徒歩 5 分、旧横浜文化体育館北側 連絡先：飯岡ひろし（携帯電話 080-1987-0994、E-mail : iioka408(at)gmail.com）

☆12月18日（日）13:15～ 第20回12月集会in2022 憲法と教育の改悪を許さない！ 会場：全国教育文化会館エデュカス東京7階ホール（地下鉄麹町駅5番出口徒歩2分） 資料代：会場参加800円、zoom参加1000円、大学生・高校生以下は無料 第1部：核兵器の廃絶をめざして 東京学生平和ゼミナール 英語スピーチングテストの中止を求めて 沖浜真治さん 第2部：東京の学校現場と運動からの報告 小学校、中学校、都立高校、特別支援学校、都立大学 「日の丸・君が代」裁判・夜間定時制存続 第3部：講演 山田朗さん（明治大学教授）「国葬」、大軍拡、学問・教育統制 主催：実行委員会 連絡先：河合090-6137-0876 zoom参加申込み：名前、住所、メールアドレス、電話を12月10日までに、下記に送ってください。参加費振込、zoomへの配信を連絡します。fuyuyukai@gmail.com

☆12月18日（日）14:00～16:30 九条科学者の会2022年12月講演会 立憲主義国家の破壊と再生—ウクライナ侵略と安倍国葬を手がかりに Zoomによるオンライン開催 要申込：開催1カ月前から受付します。氏名、連絡先（電話番号）を記して、m2-office@9-jo-kagaku.jpにメールし、ログイン情報を受け取ってください。講演1：日本国憲法平和主義の今日的意義 奥野恒久さん（龍谷大学政策学部教授）、講演2：歴史のなかの「安倍国葬」問題 宮間純一さん（中央大学文学部教授） 主催：九条科学者の会（<http://www.9-jo-kagaku.jp>、m2-office@9-jo-kagaku.jp、03-3811-8320）

☆12月18日（日）14:00～16:00 草の根歯科勉強会 死別体験者の「分かち合い」とは 会場：梨の木カフェ（水道橋駅徒歩3分、会場は10名まで） 要申込：電話 03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp 講師：みなと和夫氏（ちばグリーフサポート代表） 主催：草の根歯科研究会

☆12月24日（土）13:30～16:30 Zoom 市民フォーラム 多数の患者の全ゲノム解析推進とは—差別生まれようにするには— 講師：松原洋一先生（国立成育医療研究センター理事、東北大学名誉教授）、横野恵先生（早稲田大学社会科学部准教授）、武藤香織先生（東京大学医科学研究所教授） 司会：島薦進先生（大正大学客員教授、東京大学名誉教授） 参加方法：事前予約必須（予約受付期間は即日から12月21日まで） 予約方法：セミナー名「多数の患者の全ゲノム解析推進とは」（必須）、名前（必須）、連絡先（E-mail 必須）を明記の上、下記 E-mail 先へ申込みください。E-mail : jreikochan@yahoo.co.jp 神野玲子 またはこちらから → <https://forms.gle/5xChmXuZCnn4CNtU6> E-mail アドレスを誤ると参加案内が送れませんので注意してください 参加費：1000円 12月21日までに下記に振込みください。郵便局からの送金の場合 口座番号 10290-70860881、他行からの送金の場合 ゆうちょ銀行 028 店（セロニハチ） 普通 7086088 口座名義 神野玲子 案内詳細：振込確認後、案内および Zoom URL を12月21日頃メールにて送ります。主催：ゲノム問題検討会議 <https://www.gnomeke06.net/>

☆2023年1月15日（日）14:00～16:00 第89回草の根歯科勉強会 今こそ人類人主義を！～国際主義を越えてエスペラントの内在思想を深めよう 会場：梨の木カフェ（水道橋駅徒歩3分、会場は10名まで） zoomあり 要申込：電話 03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp 講師：大類善啓氏（方正友好交流の会） 主催：草の根歯科研究会

☆2月11日（土、休）12:50～ 「建国記念の日」に反対する2.11神奈川県民のつどい「憲法と教育」の今日的課題～人権・平和・民主主義の守り手は～（仮題） 講師 前川喜平さん（元文部科学事務次官） 会場：かながわ県民センター2階ホール（横浜駅西口下車徒歩5分） 資料代500円（高校生以下は無料） 感染防止のため、当日はマスク着用・検温・手指消毒にご協力ください。主催：2.11神奈川県民のつどい実行委員会 連絡先：神奈川労連（担当・住谷、045-212-5855）

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切りです。

送り先：後藤仁敏（E-mail : goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax: 045-894-1052）